

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

大学、研究機関、企業等の連携による地方創生に資する日本型イノベーション・エコシステムの形成

地域の成長に貢献しようとする地域大学に、事業プロデュースチームを創設。地域内外の人材や技術を取り込みながら、地域中核企業等を巻き込んだビジネスモデルを構築していくことにより、地域が持つ強みを活かした科学技術イノベーションの推進による新産業・新事業の創出を目指し、グローバルな展開を視野に入れた地方創生に資する日本型イノベーション・エコシステム※を形成する。

支援内容

地域の将来を担う人材・技術の育成・輩出を担い、地域内外の資源の結節点である地域大学に対して、以下の取組を競争的に支援。

1. 経営層がコミットした上で、特徴ある研究資源を保有する地域大学において、全国・世界規模での事業化経験を持つ人材を中心とした**事業プロデュースチーム**を創設。

事業プロデュースチームは、グローバルな展開も視野に、**域外有カシースも取り込み**、現場・市場の課題解決につながる**事業計画(コトづくり)**を策定し、**地域中核企業等へと提案**。

2. 地域中核企業等と合意が得られた、当該企業等の成長に寄与する優れた提案について、**産学官共同研究(プロトタイプ開発等まで)**を実施。

3. イノベーション促進人材の育成や学生の地域への定着を目指し、これらの活動に学生等に関与させる**人材育成プログラム**を構築・実施。

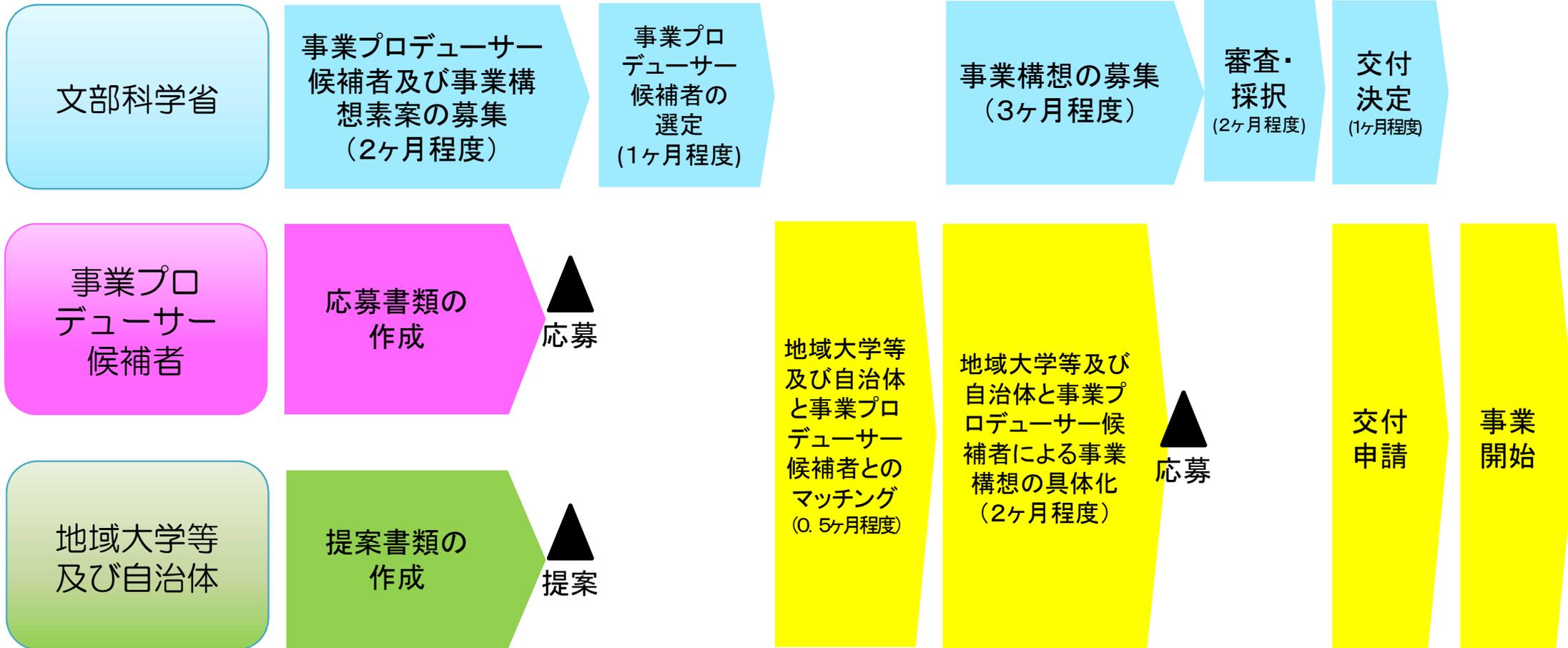
事業イメージ

※「イノベーション・エコシステム」とは、行政、大学、研究機関、企業、金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与し、絶え間なくイノベーションが創出される、生態系システムのような環境・状態をいう。



日本型イノベーション・エコシステムの形成

【事業開始までの流れのイメージ(検討中)】



※事業プロデューサー候補者の選定では、基本的に応募者が要件に合致しているか否かを書面上で判断。

※各地域から提出された事業構想概要については、全ての事業プロデューサー候補者へ提供する。

※最適な事業プロデュースチームを配置する観点から、地域大学等及び自治体は、複数の候補者との面接を行う。

○前回の地域科学技術イノベーション推進委員会での議論や、有識者へのヒアリングの結果などを踏まえ、事業プロデューサー等に求められる資質、能力として、以下のようなものを想定。

【事業プロデューサーが備えるべき資質・能力】

- ◎企業における新規事業の立ち上げ又はベンチャーの創業、及び企業におけるマーケティング活動などを主導的立場で実施した経験があるなど、新事業・新産業の創出のための事業構想を策定し、その実現に向けて関係機関間の調整とマネジメントを行う能力を有すること
- ◎地域大学等の研究開発資源を核とした新事業・新産業の創出、及びその活動を通じた地域におけるイノベーション・エコシステムの形成の実現に向けて、格別の情熱を持ち、軽快なフットワークで取り組む高い意欲があること
- ◎個別の研究開発成果(プロトタイプ)の事業化に向けた、段階に応じた資金調達手段の検討、投資家などの資金調達先に対するビジネスプランの提案などを実施できること

【事業プロデュースチーム全体で満たすべき資質・能力(事業プロデューサーが保有していれば尚良い)】

- 地域大学内における調整、合意形成等を遅滞なく行える、地域の自治体、企業等との人的ネットワークがあるなど、円滑に産学官連携を推進できる資質があること(産学官連携に係る実践経験があることが望ましい)
- 事業構想の策定にあたり、ターゲットとする市場・顧客の分析・特定、当該市場・顧客視点での技術シーズ等の優位性の判断などを行うための、本事業の提案に係る特定分野における専門的知見があること
- 事業構想の実現に向けた、個別の研究開発計画に関する研究者との議論、実現可能性評価、開始・改廃を含めた進捗管理など、研究開発活動を総括できること
- 事業構想の競争優位性を確保するための知的財産戦略の構築、それに基づく戦略的な特許等の取得、ライセンスのパイプライン・チャンネル開発など、知的財産に係る知見を有すること
- 個別の研究開発成果(プロトタイプ)の事業化に向けた、市場でのテストマーケティング、マーケティング・チャンネルの構築など、マーケティングを実施できること
- グローバルな展開を視野に入れるとともに、海外における販路開拓についても知見を有すること

○地域の実情に応じた最適な事業プロデューサーが配置されるよう、地域の大学等や自治体と事業プロデューサー候補者とのマッチングを行うこととし、最適なマッチングを促すためのツールとして、地域大学等及び自治体から事業構想素案について事前に提案を求めることで検討中。

【事業構想素案において求める内容】

○事業構想の背景

地域における潜在的な経済・社会課題や、ポテンシャルのあるユニークな研究開発リソースや技術シーズ、これまでの地域科学技術イノベーション活動における課題などといった、**事業構想の前提となる地域の状況**。

○大学等や地域が提供できる研究開発資源等

事業構想の策定にあたり、活用が可能となる**地域が保有する様々な研究開発資源**(人材、技術シーズ、先端研究設備、実証フィールド、産学官連携システム等)や想定される地域の機関での役割分担。※幅広く求めることとする。

○事業構想の概要

研究開発資源を活用し、5年程度で新事業・新産業の創出を図り、**地域の活性化・成長に繋げる構想の概要**。

○事業プロデューサーの役割、処遇等

上記の構想の具体化、推進のため、事業プロデューサーに求めたい役割や資質、能力。**事業プロデューサーを招へいする際に想定している処遇**(役職や権限等)。事業プロデューサーの能力を最大限に引き出すため大学等において**想定している支援体制**(事業プロデュースチームの編成等)。

【提案主体の要件】

国公立大学又は高等専門学校、及び都道府県又は政令指定都市の連名による応募とする。
※大学等が複数の場合は1つの自治体との連名でよい。

【留意事項】

提案書類は、全ての事業プロデューサー候補者へ提供する。